

JIS

ニッケル及びニッケル合金 アーク溶接フラックス入りワイヤ

JIS Z 3335 : 2014

(JWES)

平成 26 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	栗飯原 周二	東京大学
(委員)	伊 勢 典 浩	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	榎 本 正 敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	高 田 一	JFE テクノリサーチ株式会社
	竹 本 正	大阪大学名誉教授
	田 中 裕 輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	谷 口 元	一般社団法人日本建設業連合会（株式会社竹中工務店）
	中 田 一 博	大阪大学
	長谷川 博	一般社団法人日本溶接協会
	山 下 泰 生	株式会社神戸製鋼所
	山 根 敏	埼玉大学
	山 口 富 子	九州工業大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 26.6.20

官 報 公 示：平成 26.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：溶接技術専門委員会（委員長 栗飯原 周二）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及び記号の付け方	2
5 品質	3
5.1 ワイヤの寸法及びその許容差並びに製品の状態	3
5.2 溶着金属の化学成分	4
5.3 溶着金属の機械的性質	7
5.4 充填フラックス	7
5.5 適用溶接姿勢	8
6 試験方法	8
6.1 ロットの決め方	8
6.2 試験一般	8
6.3 溶着金属の分析試験	9
6.4 溶着金属の引張試験	9
6.5 すみ肉溶接試験	9
7 検査方法	9
8 製品の呼び方	10
9 表示	10
9.1 製品の表示	10
9.2 包装の表示	10
10 包装	10
附属書 JA (参考) 海外規格との対比表	11
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	12
解 説	15

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶接協会（JWES）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ニッケル及びニッケル合金 アーク溶接フラックス入りワイヤ

Nickel and Nickel-alloy flux cored wires for arc welding

序文

この規格は、2011 年に第 1 版として発行された **ISO 12153** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、ニッケル含有量が他の成分の含有量を超える溶着金属を生成する、ニッケル及びニッケル合金アーク溶接フラックス入りワイヤ（以下、ワイヤという。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 12153:2011, Welding consumables—Tubular cored electrodes for gas shielded and non-gas shielded metal arc welding of nickel and nickel alloys—Classification (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 1201 鉄及び鋼—分析方法通則

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材

JIS G 4902 耐食耐熱超合金板

JIS H 4551 ニッケル及びニッケル合金板及び条

JIS Z 2611 金属材料の光電測光法による発光分光分析方法通則

JIS Z 2615 金属材料の炭素定量方法通則

JIS Z 3001-1 溶接用語—第 1 部：一般

JIS Z 3001-2 溶接用語—第 2 部：溶接方法

JIS Z 3011 溶接姿勢—傾斜角及び回転角による定義

注記 対応国際規格：**ISO 6947**, Welds—Working positions—Definitions of angles of slope and rotation